

# AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学 図書館報

vol. **58**

2024年1月31日  
【編集・発行】  
神戸市外国語大学  
図書館



AD ALTIORA SEMPER (アド・アルティオラ・センペル) とは  
ラテン語で「常により高きを求めて」という意味です



巻頭言 偶然から広がる知的な出会い ... P.1

P.3 著書紹介

P.4 神戸市立工業高等専門学校との  
図書館共同利用開始のお知らせ

P.6 入館ゲート及びBDS更新の  
お知らせ  
ほか

## 偶然から拓がる知的な出会い

国際関係学科 准教授 廣見 正行

筆者が大学生だった頃、ある作家の小説ばかり読んでいた時期があった。その作家の小説には必ずと言ってよいほど図書館が登場していた。主人公に何がしかの目的があって図書館を訪れる場面もあったが、たとえ具体的な目的がなくとも、図書館だけは主人公を暖かく受け入れ、さらには無償で知的好奇心を満たしてくれる。そのような機会を提供してくれる「特別の空間」として図書館が描かれていたことを印象深く記憶している。

我が大学の図書館も、多少の違いはあれども、そのような役割を担っているのではないかと思う。とりわけ大学生にとって、教室や食堂、体育館など、何がしかの目的で使われている大学施設はその利用の目的や時間が限られているが、図書館は（利用規約に従っている限り）長い時間、訪問者を受け入れてくれる。また、我が大学の専門性に応じた高度に専門的な書籍も多数所蔵しており、直接に手にとって閲覧することができる。まさに図書館は「知の入り口」としての役割を果たしているのだと思う。

筆者の専門は、法律学の一分野である国際法学であるため、条文や判例、論文を読み込む「文献研究」が主となる。その際に必要となる、とりわけ古い書籍や歴史の深い雑誌などは、個人では到底、入手困難であることが多い。筆者がかつて図書館で閲覧した本の中には、もはや「落ち葉」のような状態になってしまった、しかし国内でも数少ない貴重な文献もあった（そのような「古典」は図書館の司書の方が日々修復されている。頭の下がる思いである。たとえば、横田喜三郎『戦争犯罪論』（有斐閣、1947年）。）。

また、古い雑誌に至っては、たとえば、日本国際法学会の刊行する『国際法外交雑誌』は1902年創刊、2023年現在121巻（原則、年4号刊行）。英国国際法学会の刊行する British Yearbook of International Law は1920年創刊といった様相である。近年ではインター

ネット上で無料で閲覧できるものも増えたが、そうでない限り、図書館で直接、閲覧することが必須となる。

筆者が大学院生だった時、大学院生が研究のために使える研究室がたまたま図書館の中にあった。ある作家の小説の中ではないが、毎日、図書館の中で本に囲まれ、日々研究に明け暮れた、幸せな大学院生活を過ごしていた。ただし、当時はオンライン上で無料で閲覧できる文献は限られており、在学した大学の図書館に書籍の所蔵がない場合には「紹介状」を書いてもらい、近隣の大学図書館を訪問して文献をコピーするのが常だった（なお、インターネットどころかコピー機すらなかった先人達は、大学図書館で文献を閲覧し、自ずからノートに書写されていたという）。

かれこれ年月が経ち、かつてはオンライン上では手に入らなかった文献も格段に無償でオンライン上で入手できるようになってきている（前述の『国際法外交雑誌』も今年、オンライン化の方針が決定された）。近年ではデジタル化が進み、Google Scholar や CiNii Research といった検索ツールも発展し、もはや物理的・直接的に書籍を手にしてコピーするなど「時間とお金の無駄」と感じられている節もあるように思われる。新型コロナウイルス感染症による大学封鎖の影響も、この傾向に拍車をかけたように思う。オンラインで閲覧することのできる情報「だけ」を頼りにして、オンラインでは入手不可の文献は敬遠してしまう…

しかし、オンラインの検索は、言わば、



▲ 国連欧州本部法務図書館

自分の関心のあること「だけ」に特化した情報を集めるものでもある。もとより筆者も、オンラインから得られる情報検索を活用しており、その利便性を否定するものではないが、アウトリーチ、筆者なりに言い換えれば、「遊び心」に不足していると感じるのである。

たとえば、筆者が国連欧州本部法務図書館やロンドン大学高等法学研究所図書館に訪問した際、もちろん目当ての文献はあるにせよ、偶然近くに所蔵されている書籍や資料をたまたま気になって手にとってみて、直接の関心事項ではなくとも、新しい研究上の発見をした経験がある。そうしたことが、結果として、筆者の研究に生きたことは数えきれない。

近年の著作物のデータベースをオンライン上でまとめる技術には目覚ましいものがある。そうした技術を「利用」して、オンラインの検索サイトに自身の研究テーマを入力して、出てくる限りの参考文献の情報(だけ!)を、自身の論文の脚注にすべて載せるような傾向も一部に垣間見られる。

しかしながら、インターネットで検索・閲覧できない文献であって、それゆえ、なかなか得られないような文献も、図書館では数多く所蔵している。そうした文献には、たとえ偶然にせよ、図書館に直接に訪問して、物理的に本を紐解いてみるしかない。そうした偶然から広がる、(ある意味で現代のデジタル社会にお

いて)“first-hand(直接的)”な知的出会いこそが、自身の研究や人生にとって最も貴重な出会いであり、デジタル社会の中であっても依然として求められているのではないかと思う。それゆえ、筆者は、かの作家の小説に描かれていた場面のように、たとえ特に具体的な目的がなかったとしても、図書館を訪れ、(まずは)たまたま気になった本を発見し直接手にすることから“first-hand”な知的な出会いをしてもらいたいと思うのである。そうして偶然手にとった一冊の「出会い」こそが、自身の新たな人生の「きっかけ」となるかもしれないと思うのである。



▲ ロンドン大学高等法学研究所図書館

## ■ 文中紹介作品【本文掲載順】(図書館所蔵)

【図書】[日]『戦争犯罪論』(請求記号：3275==8)

【雑誌】[日]『国際法外交雑誌』(請求記号：P32=041)

【雑誌】[英]The British year book of international law(請求記号：P32=119)

■注記 【 】内は媒体種別、[ ]内は使用言語を指す。

### 雑誌の利用案内

雑誌は閲覧室及び書庫3階に配架されています。

書庫2階・3階の資料を利用するには、カウンターへの申し込みが必要です(教員・院生・研究生以外は書庫に入れません)。蔵書検索システム(OPAC)で検索し、資料請求票(申込用紙)に必要事項(書名・請求記号・巻号)を記入した上で、カウンターにお申し込みください。



## 法もグローバルに進化する！

国際関係学科講師  
後友香 (うしろ ゆか)

### 『レクチャー 国際取引法 〔第3版〕』

松岡博編  
法律文化社、2022.10発行

-----  
図書館所蔵：N329.8==193



「国際取引法」と聞いて、「そんな法は自分には一生関係がない」と思う人は、特に外大生であれば多くはないでしょう。しかし、「国際取引法とはどのような法ですか？」と訊かれると、答えに困ってしまう人は少なくないのではないのでしょうか。

あなたが Amazon で洋書を買ったら、その洋書はイギリスの会社が販売しているものでした。あなたがこの洋書を買ったのは、立派な国際取引です。あなたが就職した会社が作っている機械がアメリカに輸出されましたが、現地でその機械で作業中だった人がけがをして、あなたの会社が訴えられてしまいました。これも、国際取引をめぐる紛争です。今この瞬間も世界中で、人や物やお金などが国境を越えて移動しています。国際取引は今や、世界各地で毎日のように行われている当たり前のことになりました。

では、この日に日にグローバル化が進んでいる現状に、法は追いつけているのでしょうか？答えは No と言わざるを得ません。日々新たな問題が生じてくる人間社会では、未来に起こるすべての事柄を予測して完璧な法を作っておく、などということはできないのです。何か問題が起きて、それに対処する法がようやくできた！と思った頃には、それより後に起こった問題が既に山積みになっています。

しかし、ここに、皆さんが法を勉強する意味があるのです。「今ある」法を形式的に使っただけでは目の前の問題は解決できません。さあどうしましょう？ひよっとするとあなた

は、ChatGPT に答えを訊いてみようと思うかもしれませんが、確かに、AI も、何らかの答えを出してはくれるでしょう。しかも理由つきで。あなたはその理由と答えに納得できませんでしたが、もめごとの相手はその理由と答えに納得しています。この状況で、あなたはこのAIの判断に従えますか？

ここであなたが武器にできるのが、「今ある」法です。「今ある」法は、過去の長い長い法の歴史を踏まえて、どういったルールが最も良いだろうかということをも多くの人が知恵を寄せ集めて考えたものです。この「今ある」法がどうして作られ、どのように使われているのか、を勉強することによって、合理的で、一人でも多くの人を納得させられるようなルールの作り方・使い方というものが見えてきます。あなたはそれを元にして、AI が出した答えに納得している相手に「異議あり！」をつきつけられるわけです。

国際取引法の話をしてはいたはずが、一般的な法の話になってしまいましたが、このように、「今ある」法は、常に新たな問題に直面します。そして、「今ある」法を元に、新たな問題の解決を考えるのは、他でもないあなたなのです。そして、あなたが考えた解決が、また新たな法につながる場合があります。国際取引法は、このような法の進化が特に活発な分野です。外大生の皆さんにもぜひ、「法」とついた時点で難しそうと思わずに、様々な法を覗いてみてほしいと思います。

## 神戸市立工業高等専門学校との図書館共同利用開始のお知らせ

2023年4月1日より、本学と神戸市立工業高等専門学校（神戸高専）が同一法人による運営となりました。それに伴い、同年10月2日から、本学図書館と高専図書館の共同利用が開始されました。

- 対象者：本学の学生・教職員
- 利用方法について
  - 直接、高専図書館を訪問してください。
  - ※必ず、学生証や職員証など、本学所属であることを証明するものを持参してください。
- 貸出について
  - 図書館カードは作成されません。借りたい資料を持ってカウンターまで申し出てください。
  - ひとり5冊 / 2週間貸出しが可能です。
- 返却について
  - 高専図書館に返却してください。※本学図書館には返却できませんのでご注意ください。

開館日・開館時間などの情報は、高専図書館ホームページをご確認ください。

神戸市立工業高等専門学校図書館

▶ <https://www.kobe-kosen.ac.jp/lib/>

## 神戸研究学園都市大学交流推進協議会（UNITY）加盟校 図書館相互利用再開のお知らせ

2023年10月2日から、神戸研究学園都市大学交流推進協議会（UNITY）相互利用が再開されました。これにより、紹介状の持参不要で、各校の図書館を利用することができます。

### ■神戸研究学園都市大学交流推進協議会（UNITY）加盟校〈本学を含む、5大学1高専〉

神戸芸術工科大学・兵庫県立大学（神戸商科キャンパス）・流通科学大学・神戸市看護大学・神戸市立工業高等専門学校<sup>1</sup>

- 対象者：本学の学生・教職員
- 利用方法について
  - 直接、各大学図書館を訪問し入口で身分証を提示してください。
  - ※必ず、学生証や職員証など、本学所属であることを証明するものを持参してください。
- 貸出について
  - 本学図書館カウンターにて、共通貸出証を受け取ってください。
  - 訪問先の図書館の指示に従い、貸出手続きをしてください。
  - 本学図書館カウンターに、共通貸出証を返却してください。
- 返却について
  - 借りた図書館のカウンターに返却してください。※返却の際には、共通貸出証は不要です。

外大にない資料を  
直接選んで借りることが  
できます。  
ぜひご利用ください

開館日や利用できる資料は、各館で異なります。UNITY 図書館相互利用の利用案内をご確認ください。

神戸研究学園都市大学交流推進協議会 図書館相互利用

▶ <https://www.unity-kobe.jp/library>

<sup>1</sup> 神戸市立工業高等専門学校においては、本学との図書館共同利用をご利用ください。

## 高校生・受験生体験企画「夏休み、外大図書館へ来てみませんか？」を実施しました

2023年8月7日(月)から18日(金)、高校生と受験生を対象に、図書館利用体験イベント「夏休みに外大図書館へ来てみませんか？」を開催しました。入試広報の一環として実施した本イベントは、昨年度に引き続き今回で2回目。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、積極的な広報活動は控えることになりましたが、今年は様々な告知ツールを用いた広報活動を行いました。オリジナル図書館カードを用意した甲斐もあり、参加者数は計22名。前回の9名を上回り、大勢の方々が近隣や遠方から当館を訪れてくれました。閲覧室や開架書庫をぐるっと回ったり、語学試験対策コーナーを眺めたり、閲覧席で勉強したり——。緑豊かな夏のキャンパスで、外大生気分を満喫してもらえる貴重な機会となりました。

### /// 実施概要 ///

- ▶ 期 間 2023年8月7日(月)から18日(金)  
※休館日を除く
- ▶ 対 象 1. 神戸市在住、または  
神戸市内の高校に在籍している高校生  
2. 本学の受験を考えている方
- ▶ 利用範囲 図書の閲覧、複写、座席の利用
- ▶ 利用料金 無料
- ▶ 利用手続 手続き後にカードを交付

### /// 広報協力 ///

- ・本学広報担当者(ウェブサイトおよびSNSでの情報発信)
- ・神戸市立図書館(中央、名谷、西図書館でのポスター掲示)
- ・神戸研究学園都市大学交流推進協議会 大学共同利用施設UNITY(ポスター掲示)



▲ 広報用に制作したポスター



▲ 上：オリジナル図書館カードの表面  
下：裏面（小さな活版印刷機を使って一枚ずつ印字しました。）

## 入館ゲート及びBDS更新のお知らせ

2012年4月から利用していた入館ゲート・BDS（Book Detection System）を、2023年8月末に更新しました。

入館ゲートは、図書館システムに登録されている有効期限内のユーザかどうかを判定し、開閉を行っています。旧システムより動作が早くなりました。

BDSは図書館資料の亡失防止システムで、貸出手続きをしないまま資料を持ち出そうとすると、装置が作動しアラートが鳴ります。旧システムは入口と出口がありましたが、今回のシステムではフラッパーを取り除き、両側から通り抜けられる仕様としました。

入館ゲート・BDSは、図書館を利用する際にあまり意識はしないかと思いますが、皆さんの学修環境を守るお手伝いをしています。



▲旧BDS



▲新BDS

## つながれ読書のバトン

『春の雪』〜豊饒の海〜 第1巻

三島由紀夫著

侯爵家の白哲の美青年 共感できないにも関わ  
と伯爵家の美貌の令嬢 らず、世界観の美しさ  
との悲恋、主人公の天 故に惹かれてしまいま  
折と輪廻転生が美しい す。自身の人生のス  
文体で描かれていま テーヅに応じて10年お  
す。三島由紀夫の「豊 きぐらいに読み返す  
穰の海」シリーズの第 と、全く違う感想にな  
一巻である本作は、主 るかもしれません。  
人公の行動原理に全く

第七走者 MY

### 「つながれ読書のバトン」投稿募集!

2000字以内であなたのお気に入りの本を紹介してください。メールで氏名またはペンネーム・紹介資料書名・著者名を明記し、下記の宛先まで。学生、教員、職員など利用区分に関係なくご応募いただけます。

応募先

library@office.kobe-cufs.ac.jp

#### 注意事項

- 氏名またはペンネームを掲載させていただきます。
- 外大図書館に所蔵がないものも応募できます。
- 漫画・雑誌等はお遠慮ください。

## 図書館日誌 《2023年7月～2023年12月》

2023年	7.23	日曜開館日（前期定期試験期間のための臨時開館）
	7.30	日曜開館日（前期定期試験期間のための臨時開館）
	8.7-18	高校生・受験生体験企画「夏休み、外大図書館へ来てみませんか？」開催
	8.21-29	蔵書点検
	9.19	JLP オリエンテーション
	10.2	神戸市立工業高等専門学校との図書館共同利用開始 神戸研究学園都市大学交流推進協議会（UNITY）加盟校 図書館相互利用再開
	10.18	トークイベント「児童文学が担う役割の移り変わり～『コロボーク』の邦訳を事例に～」開催
	11.7-8	トライやるウィーク（1校2名受入）
	11.29	イベント「第4回おすすめ本持ち寄り読書会」開催
	12.6	トークイベント「セミコロンから眺める英語の世界」開催
	12.13	LA トークイベント「わたしたちの外国語学習法」開催

		<b>AD ALTIORA SEMPER vol.58</b> 神戸市外国語大学図書館報 第58号
ISSN		0919-2336
編集・発行		神戸市外国語大学図書館
		〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1
		TEL : 078-794-8151 / FAX : 078-797-2257
		URL : <a href="https://www.kobe-cufs.ac.jp/library/">https://www.kobe-cufs.ac.jp/library/</a>
発行日		2024年1月31日
発行責任者		図書館長 芝 勝徳